

ポポコ新聞

[Ponpoko News]

第 55 号



=発行=

2014年5月4日

喜多見ポポコ会議

www7.ocn.ne.jp/~ponpoko/

【現在の工法】



現場材料で水際に寄石・寄土、左右から湧水が出ています



高水敷を下げることで河床掘削は少なく、護岸の根入れも浅くなりました



野川自身の自然の営みで復元し水生生物も早く回復しました



護岸には雑割石を積み、平場には自然石をはめています

【落差工】



玉石を鎖でつなげたものを落差工の上流側に並べます



上流側は連結玉石、下流側には護床ブロックが入っています

【従来の工法】



出来上りは河岸の勾配がきつく、水辺に近づきにくくなりました



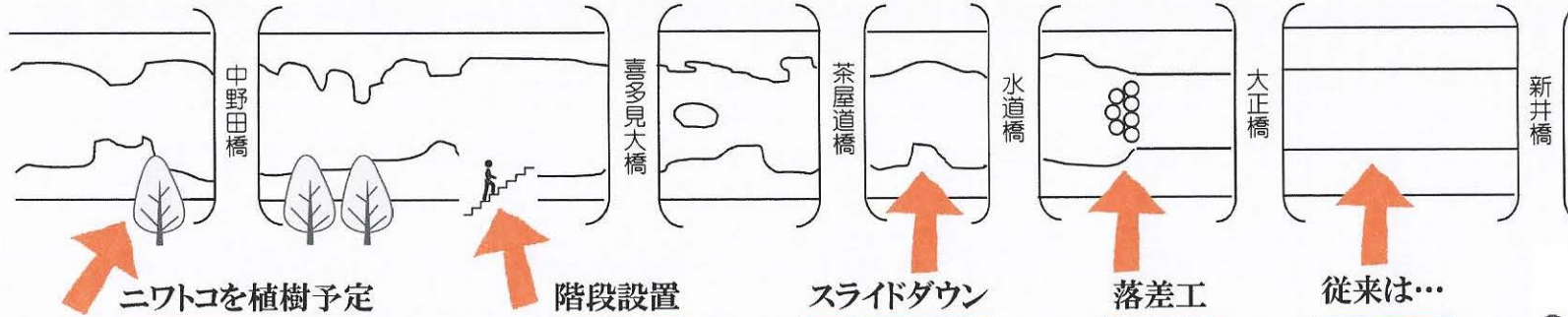
高水敷(川原)の高さは工事前と同じですが河床を深く掘り下げました



現在は草も生えましたが、川が自然に動けず直線的です



護岸はコンクリートブロック、土盛り、ブロックマット、さらに土盛りしました



ニワトコを植樹予定
中野田橋あたりは野鳥の餌場になっており、子育てする野鳥が多い場所です。東京都・世田谷区と相談し、河床改変の代替措置として、野鳥が止まったり実をついばんだりできるような樹木を植えることになりました。植える樹は、正月に氷川神社で授与されるアボヘポにも用いられているニワトコです。薬効があり鶏が病気になったとき飲ませるため、昔はどこかの農家にもあったそうです。天狗さんのお宅からニワトコの枝をいただき挿し木して育てた後、野川沿いに3本植える予定です。

階段設置
野川ガサガサで子ども達が川へ入りする際に危険のないよう、階段が設置されました。

スライドダウン
落差工から上流は、河積を確保しつつ現況の河床の起伏を平行移動した、都市河川初のスライドダウンです。

落差工
従来工法の下流部との境には深さを調整するための落差工が設けられました。

従来は...
河床を1.5m掘り下げ、直線的で水辺に近づきにくい構造でした。



従来の工法から多自然川づくりへ



野川で洪水対策として河床整備工事が行われています。東京都は、2011年にポポコが実施した「みんなの野川をみんなでつくる」を受け、現況をできるだけ変化しない・掘り下げない構造に変更しました。これまでの工事経過を報告します。

みんなの野川をみんなでつくる
工事経過

農業・農地を活かしたまちづくり

農園を見学

農業・農地に関する検討が本格化するにあたり、全体の仕組みは喜多見独自のものを考えるとして、資源循環や施設・設備の参考になりそうな事例を見ておきたいと、住宅地と里山にある2つの農園をポンポコで見学しました。

せせらぎ農園

運営するのは「まちの生ごみ活かし隊」、代表の佐藤美千代さんは平成10年まで喜多見に住んでいたそうです。

日野市と協働で生ごみを減らす活動をはじめ、2008年から約200世帯の生ごみを回収し、650坪の畑で「直接土ごと発酵」させ、野菜や花を育てています。基材は竹パウダー、生ごみは微生物いっぱいのかかつかの土になり、夏は1ヶ月で作付けできるそうです。

農園内の①休憩や予定管理に使う小屋②素掘りの水路③作業指導の様子



①



②



③

週3日の定例作業には誰でも好きな時間に参加でき、作業に来た人に農作業のやり方を教えてください方もおられます。汗を流した後、帰りに収穫した野菜を分け合います。

アリスの丘ファーム



緑地ボランティアが集合したときに座るための丸太、奥に見えるのは落ち葉のため

運営するのは「倉沢里山を愛する会」、事務局は田村裕介さん・はる子さん夫妻です。倉沢里山は、田村さんをはじめとする地権者の相続に際して、日野市への寄付と、相続税の物納地を後日日野市が国から買い受けて公有化しました。日野市とパートナーシップ協定を結び、協議しながら活動しています。

アリスの丘ファームは、点在している約4haに及ぶ緑地のほぼ中心に位置しています。かつて民間の市民農園でしたが里山内の雑木林との循環の中で管理・運営することになりました。牛糞やおから、緑地の落ち葉などを堆肥として利用しています。農園は緑地管理ボランティアに参加する会員だけが利用できます。緑地には、剪定枝のほだ柵、落ち葉だめ、炭焼小屋などがありました。

見学した2つの農園はどちらも魅力的でした。これらも参考に喜多見らしい仕組みを検討していきたいと思います。

ご主人は喜多見中学校出身

宇奈根 山中



宇奈根 3-7-15、電話 3416-6620、日月休み

水道道路を挟み宇奈根地区会館の向かいの道を入ったところに黒いシックな建物があります。木の銘板には「宇奈根山中」、天ぷらと蕎麦の店です。

ご主人の山中宏介さんは慶元寺幼稚園・喜多見中学校出身。銀座の天ぷら屋と蕎麦屋で計13年修行した後、2004年4月に開店して今年でちょうど10年目。

「天ぷらと蕎麦は相性が良いですよ」とご主人。お客さんと話ができるよう、蕎麦屋としては珍しくカウンターのある店にしました。カウンターにはサツマイモ、レンコン、アスパラ、今の季節はタラの芽などが彩りよく並び、カウンターに座ればそれを見て注文し、揚げたてを頬ばることができて、ちょっと贅沢な気分も味わえます。

地元宇奈根は世田谷区でも小さな町、昔ながらの地縁関係がまだまだ薄れていないところもあり、今も屋号で呼び合い、お祭りや消防団の活動も活発に行われているそうです。ご主人のそんな宇奈根への愛着は深く、店名に「宇奈根」が入っているワケでもあるそうです。

喜多見不動堂

フジが復活



成城 4-2-8、電話 3482-1294

喜多見不動堂境内でフジが満開です。実はこのフジ、不動坂が拡幅されたときに伐られてしまいました。根っこが残って木に絡まっていたのを不動堂管理人の小泉三雄さんが見つけ、大切に育てて7年目でやっと咲きました。小泉さんが植木職人でフジも幸せですね。

INFORMATION

野川事前調査&ごみ拾い

【日時】 5月11日(日) 10:00~12:00
【集合】 次大夫堀公園築山横のベンチ
【持物】 長靴

春の野川ガサガサ

【日時】 5月17日(土) 10:00~12:00
【集合】 次大夫堀公園築山横のベンチ
【持物】 長靴、玉網、バケツ(予備あり)
【申込】 喜多見児童館 tel. 3417-9151

野川の工事経過紹介

【期間】 5月17日(土)~31日(土)
【場所】 喜多見東地区会館1Fロビー